

## (15) プレイメントプラザ

## ① 設置の趣旨（目的）及び組織

## ア 組織設置の趣旨（目的）

プレイメントプラザは、学生の就職指導・支援に係る企画及び実施並びに卒業・修了生への就職情報の提供その他就職支援に資することを目的とし、平成27年4月1日に設置された。

業務内容は、次のとおりである。

- i) 学生の就職指導・支援に係る企画及び実施に関する事項
- ii) 就職情報等の収集・分析・提供に関する事項
- iii) 卒業生・修了生への就職情報の提供に関する事項
- iv) その他その他就職支援に関する事項

## イ 組織の構成及び構成員等

プレイメントプラザは、室長、次長及び室員で組織され、室長は学長が指名した副学長、室員は学生支援課所属の事務系職員及びキャリアコーディネーターで構成されている。次長については、室長が室員のうちから学生支援課副課長を指名した。

## ② 運営・活動の状況

## ア 委員会等の開催状況

就職委員会（プレイメントプラザ室長が委員長を兼ねる。）を4回開催した。

## イ 審議された主な事項

「就職委員会」の項参照。

## ウ 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

就職ガイダンス、教員採用選考試験対策講座（入門編、基礎編、実力養成編、大学院教員養成強化研修、直前講座、直前実技指導・模擬面接）、学内模擬試験等の就職支援プログラムを計画的に実施した。

学生の教員就職に向けた意識を高め、採用試験準備の早期の取組を促すとともに、プレイメントプラザ及び就職支援プログラムの利用促進を図るため、次のような取組を新たに実施した。

- i) 就職委員会において、各コース・科目群所属学生のプレイメントプラザ利用状況を分析し、コース等における学生指導を依頼した。
- ii) 学部3年次学生に加え、大学院1年次学生及び教員免許取得プログラム2年次学生についても、進路希望調査提出時に指導教員による進路に関する学生との面談を実施するよう依頼した。
- iii) ガイダンスや教員採用試験対策講座においてキャリアコーディネーターが講師を担当する回数を増やし、プレイメントプラザ利用促進の働きかけを行った。
- iv) 講座・ガイダンス等の参加率を高めるため、講座等を行う時間帯には、プレイメントプラザでのキャリアコーディネーターによる相談・指導を実施しないよう調整を行った。
- v) 教員採用試験直前の時期に実施する「集団面接・集団討論・場面指導」の指導について、テーマ設定などの実施計画を事前に周知し、学生が計画的に参加できるように配慮した。
- vi) 教員採用試験のための学習支援と試験情報等の学生への提供を行う教員採用試験学習支援システムについて、同システムを継続し安定的に運用するため、システムの改修と仮想サーバーへの移設を実施した。

### ③ 優れた点及び今後の検討課題等

教員採用試験対策講座等の就職支援プログラム，キャリアコーディネーターによる相談・指導，プレイスメントプラザ及び教員採用試験学習支援システムにおける就職情報の提供など，教員就職を中心とする就職支援の各種取組は大きな成果をあげており，平成28年10月に就職委員会が実施した就職支援に関する教員アンケートにおいても，就職支援の充実を評価する回答が多く寄せられた。

また，平成28年度実施の教員採用試験においては，学部4年次学生の受験者について，キャリアコーディネーターの指導を受けた回数が多い学生ほど合格率が高い結果が確認された。

文部科学省が平成29年1月31日に発表した「国立の教員養成大学・学部（教員養成課程）の平成28年3月卒業者の就職状況」において，本学学部卒業者の教員就職率（大学院等への進学者及び保育士への就職者を除く。）は80.0%で，全国44大学・学部中，第5位であった。4年連続で5位以内を維持する結果となった。

平成28年度からの第3期中期計画においては，学部卒業生及び大学院修了生の教員就職率について，目標数値が設定されている。この目標を達成するため，学生の教員就職への意識を高め，プレイスメントプラザの利用や各種就職支援プログラムへの参加の促進が図られるよう，学内の他の組織や教員との連携をさらに推進する必要がある。